

テーマ  
1

# 「お金を使う」とは？ ～収入と支出のバランスを考える～

みんなが欲しい物は、いつでも全部買えるわけではないよね。高い物もあれば安い物もあるし、いま絶対に必要な物もあれば、なくても平気な物もある。いまの生活で買いたい物、必要な物もあるけど、大人になったら、進学や就職、結婚や子育てのほか、家や車を買う、なんて選択もあるよね。お金を使うってことは、いろんなことを「計画性」を持って考えるってことなんだ。

## 1 お金を使うって何だろう？

本や食べ物などの「物」を買ったり、遊園地やカラオケなどで「サービス」を利用したりしたときに皆さんもお金を払うと思います。お金を使う(支払う)ことは一般的に「支出」といいます。

お金を使うということは、支払うお金の額に見合うだけの物や楽しみ・便利さといった「価値」を受け取る、ということです。必要以上に高い物や、必要のない物にお金を使うことは、決してよい選択とはいえません。

## 2 収入って何だろう？

皆さんは、保護者の方から「お小遣い」としてお金(現金)をもらったり(これがあなたの「収入」です)、「物」を買ってもらったりしていると思います。そのお金は、保護者の方などが得ている「収入」から出ています。

「収入」は働いたり(勤労収入)、商店で「物」を

売ったり(事業収入)、アパートなどを貸したり(財産収入)した対価として得られます。

また、家庭で得ている収入と支出は一般的に「家計」と呼ばれます。

## 3 収入と支出のバランスを考えよう

お金を使う「支出」は、「収入」があってはじめて成り立ちます。ですから、「収入」に見合った「支出」の計画、「収入と支出のバランス」が大事です。

自分にどれくらい収入があるのかを頭に入れて、その中でどれだけお金を使うかを考えなければなりません。お金の使い方はその人の生活の仕方や趣味などにより変わりますが、「収入」は限られたもの

ですから、「支出」も当然限られたものになります。

ですから、今月はこちらを買うから、これはあきらめる、といった選択を常に正しく行っていく必要があります。また、将来に備えてお金を貯めることも必要です。このように「財」が限られていること、そのために必要な物を選んでいくことを「希少性と選択」といいます。

新規卒者の 初任給 (平成20年度)	全体平均	大卒：198,700円	高専・短大卒：169,700円	高卒：157,700円
	男性	大卒：201,300円	高専・短大卒：171,600円	高卒：160,000円
	女性	大卒：194,600円	高専・短大卒：168,600円	高卒：154,300円

出典：厚生労働省「平成20年賃金構造基本統計調査」

### ◆ 30歳未満勤労単身者の平均収入と平均支出(一ヶ月間) ◆

		男性	女性
実収入		269,282円	228,054円
消費支出	食費	43,926円	30,937円
	住居費	33,507円	38,721円
	光熱水道費	6,552円	7,143円
	家具家事用品費	2,458円	4,142円
	被服履物費	8,576円	22,553円
	保健医療費	2,465円	4,502円
	交通通信費	35,206円	22,644円
	教養娯楽費	27,414円	18,036円
その他		18,799円	24,106円
非消費支出		37,431円	32,152円

出典：総務省「平成16年全国消費実態調査」

## 生活設計とマネープラン

お金と上手に付き合っていくためには、きちんとした計画性が必要です。将来、どんな生活をしたいか、そのために何が必要かを考えて、それをきちんと計画することを「生活設計」といいます。また、その「生活設計」を実現するために、どのように収入を得て、支出をしていくかを計画することを「マネープラン」といいます。

将来のことを何も考えずに生活していたり、その場

限りの判断でお金を使ってばかりいると、将来の夢や理想の生活を実現することは難しいでしょう。

マネープランを考えるにあたっては、時間をかけて必要な額を「貯めて」から使うという方法と、先にお金を「借りて」使い、後から時間をかけて返す、というお金の使い方があることを知っておくと便利です。どちらがよいかは、あなたの判断です。これらについては、2時間目以降で学んでいきます。

### 生活設計のポイント

- ① 大人になった自分の姿を想像してみよう
- ② 人生にどんな選択があるかを知っておこう
- ③ 10年、20年、30年と長期的な視野で考えてみよう



人生には「進学」、「就職」、「結婚」、「出産・子育て」、「家の購入」など、様々な選択があり、それをどのように選択していくかで「生活」は変化していきます。どんな生活を送ってみたいか考えてみましょう。

### マネープランのポイント

- ① 自分の収入をしっかりと把握しよう
- ② お金の使い方には大きく分けて3つあることを知っておこう (コラム参照)
- ③ 生活設計と照らし合わせて、将来の収入と支出を考えてみよう



マネープランには、「1ヶ月」、「1年」などの短期的なもの、「数十年」という長期的なもの2とおりあります。いずれも大事なことは「現状を把握すること」と「先を見通すこと」。生活設計と合わせてしっかりと計画してみましょう。

## 本日の学習のまとめ ～収入と支出のバランスと生活設計を考えよう～

- point 1 収入と支出のバランスと使い道の配分をよく考えよう
- point 2 生活設計とマネープランを意識しよう
- point 3 お金の使い方には大きく分けて3つあることを知っておこう

### \* コラム いろいろなお金の使い方 \*

お金の使い方は様々です。食費や被服費、光熱費、通学や通勤の交通費などは、「生きていくために必要なお金」です。また、ゲームやマンガなどの遊びに使うお金や、旅行費用などは「生活を豊かにするためのお金」です。皆さんのお小遣いで使うことはあまりないかもしれませんが、税金や結婚式のお祝いなど、「社会や他の人のために使うお金」もあります。

これらのお金を必要に応じてバランスよく使っていくことが必要です。

#### 【主なお金の使い方】

① 生きていくために必要なお金	② 生活を豊かにするためのお金	③ 社会や他の人のために使うお金
衣食住関連費 食費、被服費、家賃など	教育関連費 塾代、参考書代など	税金 消費税、所得税など
光熱水道費 電気、水道、ガスなど	趣味関連費 ゲーム、本、マンガなど	社会保険 健康保険、雇用保険など
保健医療費 治療費、薬代など	レジャー関連費 旅行代、外食代など	交際費 お祝い、お見舞いなど
交通通信費 定期券代、電話代など	貯蓄 *①、③の場合もあります	その他 寄付金など